

スイートコーン栽培管理情報 No.1

令和8年4月 京築普及指導センター・JA福岡京築

今後のポイント

- ①トンネル換気 → 4月10日以降は裾を20cm程度開放
35℃を超えないように換気
- ③かん水 → 葉まきの発生を目安に実施
- ②1回目の追肥 → 6葉期頃



1. トンネル管理・除去

- 向こう1か月は気温が平年より高い予報（2026年3月19日：気象庁発表）となっています。高温による葉焼けを防ぐため、**4月10日以降はトンネルサイドを20cm程度開放**するようにしましょう（トンネル内35℃以上は厳禁！）（図1）。

トンネル除去時期：遅霜の心配がなくなる頃

| | 1型 | 2型 | 3型 | 4型 | 5型 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| トンネル除去時期の目安 | 4月15日 | 4月15日 | 4月20日 | 4月20日 | 4月20日 |

- ※1型 トンネルをつきあげ、雄穂が出穂した場合は早めに除去。
- ※生育が遅れている場合は、生育を促進させるためにトンネル除去を遅らせる（高温に注意）。

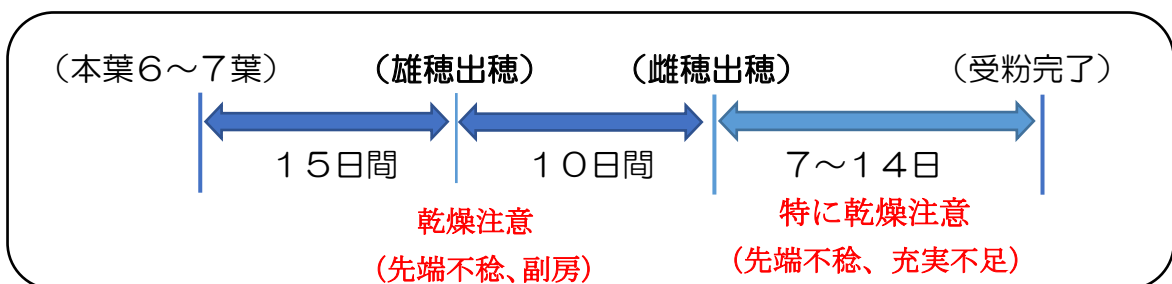
花芽分化期（6～7葉期頃）や雄穂（雄花）出穂後の高温は、雄穂の分化異常や先端不稔の発生、雌穂の小型化等で減収につながるため換気を徹底する。



図1 裾換気の様子

2. かん水

- 花芽分化期（6～7葉期頃）や草丈伸長期・受粉以降の乾燥などのストレスは副房の発生や減収につながるため乾燥する前にかん水を行う。
- 土壌が乾燥すると肥効が遅れ、生育が阻害されるため、土壌の水分状態や葉色・葉の巻きや芯の色・葉すじに注意し、畝間かん水を実施する。



3. 追肥

- ・ 生育初期の株の充実を図るため、早めに追肥を行う。
- ・ 基肥で新麦名人を施用したほ場では、1回目追肥を省略することができる。
(肥料が効いていない場合(葉色不良等)は適宜追肥を実施する。)
- ・ 生育が悪い場合、液肥の散布(OKF-1 400~600倍)を検討する。

<追肥基準>

| | 時 期 | 時期の目安 | 肥料名 | 施用量 | 施用場所 |
|-----|--------|----------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|------------|------|
| 1回目 | 本葉6葉期頃 | 1型 3月20日~ 2型 3月30日~ 3型 4月10日~ 4型 4月15日~ 5型 4月20日~ 6型 4月25日~ | 追肥化成34号 (16・4・14) または NK化成2号 (16・0・16) | 40kg / 10a | 株間 |
| 2回目 | 雄穂出穂期頃 | 1型 4月5日~ 2型 4月15日~ 3型 4月25日~ 4型 5月1日~ 5型 5月5日~ 6型 5月10日~ | | 40kg / 10a | 条間 |
| 3回目 | 雌穂出穂期頃 | 1型 4月15日~ 2型 4月25日~ 3型 5月5日~ 4型 5月10日~ 5型 5月15日~ 6型 5月20日~ | | 20kg / 10a | 畝肩 |

4. 除草剤について

- ・ 雑草の発生が多いほ場では、除草剤の使用を検討する。
- ・ トンネル除去前に、トンネルを閉めこみ、除草剤を散布する。

【令和8年度除草剤の例】

| 薬剤名 | 適用雑草名 | 希釈倍数使用量 | 使用時期 | 使用方法 | 使用回数 | 備考 |
|-------------|-------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|------------------|------|---------------|
| バサグラン液剤 | 一年生雑草 (イネ科を除く) | 100~150mL/10aで 70~100L/10a散布 | 生育期 (但し収穫50日前まで) | 雑草茎葉散布 又は全面散布 | 1回 | |
| ブルーシアフロアブル | 一年生雑草 | 40~50mL/10aで 100L/10a散布 | とうもろこし3~5葉期 (但し、収穫45日前まで) | 雑草茎葉散布 又は全面散布 | 1回 | |
| | | 50~75mL/10aで 100~150L/10a散布 | とうもろこし6~7葉期 (但し、収穫45日前まで) | | | |
| プリグロックSL(毒) | 一年生雑草 | 600~1000mL/10aで 100~150L/10a散布 | 畦間処理:雑草生育期 但し収穫3日前まで (草丈30cm以下) | 雑草茎葉散布 | 5回以内 | 地表面のみ を枯らす |

※ 農薬登録：2026年4月1日登録反映 散布前に必ずラベルを確認しましょう。

5. 害虫防除

アブラムシ類・アワノメイガは、発生初期には雄穂を加害するが多い。
特に、主軸や雌穂の根本付近を注意して観察し、発生初期の防除を心がける。

◇アブラムシ防除（雄穂出穂後から注意）：図2

- ・スイートコーンに寄生するアブラムシ（トウモロコシアブラムシ、ムギクビレアブラムシ等）は、麦の収穫時期頃から被害が増加するため注意する。

◇アワノメイガ・オオタバコガ防除：図3

- ・雄穂の白変・折れ等が見られたら、食入している可能性がある。
- ・出穂直前・雌穂出穂期等を中心に薬剤防除を行う。

☆ 最近、雄穂に入らず、直接雌穂に食入する事例が多く見られている。

6月中旬以降は特に注意して確認を行う。

◇カメムシ防除

- ・収穫前のスイートコーンの子実部分を吸汁
- ・雑草のある場所で発生が多いため、薬剤防除と圃場周辺の雑草防除を徹底する。



図2：アブラムシの発生ほ場



図3：アワノメイガが食入した雄穂

※ 黄色蛍光灯を、トンネル除去後すぐに(4月下旬頃)、日没1時間前から日の出1時間後まで点灯させると、アワノメイガ・オオタバコガの被害軽減に効果がある。

【令和8年度防除事例】

農薬登録：2026年4月1日登録反映

| 防除時期 | 薬剤名 | 適用害虫 | 希釈倍率 | 使用時期 (収穫前日数) | 使用回数 |
|------------|---------------|-----------------|-----------------------|-----------------|------|
| 雄穂出穂期 | パダン粒剤4 | アワノメイガ | 6kg/10a 株の上から均一に散粒 | 7日前 | 2回以内 |
| 雌穂出穂期 | トランスフォームフロアブル | アブラムシ類 | 2000倍 | 前日 | 3回以内 |
| | アクセルフロアブル | アワノメイガ | 1000~2000倍 | 前日 | 3回以内 |
| 雌穂出穂期の14日後 | スタークル顆粒水溶剤 | カメムシ類 アブラムシ類 | 2000倍 | 前日 | 3回以内 |
| | グレーシア乳剤 | ハダニ類 | 2000~3000倍 | 前日 | 2回以内 |

・散布前に必ずラベルを確認し、使用時期に注意して使用する農薬を決定しましょう。

※ **スイートコーンは農薬登録上「野菜類」ではないため、「雑穀類」、「とうもろこし」、「未成熟とうもろこし」で登録のある農薬を使用しましょう。**

※展着剤（アプローチBⅠやブレイクスルー）は農薬を均一に付着させる効果を高めるため、効果が不安定な時や害虫が多発した時に積極的に加用する。

展着剤を混用する場合の順番：【テ：展着剤】→【ニ：乳剤・フロアブル剤】→【ス：水和剤】

※ブレイクスルーは泡立ち防止のため薬剤調整後に添加する。